

2019. 10. 14 (水) 茨城新聞

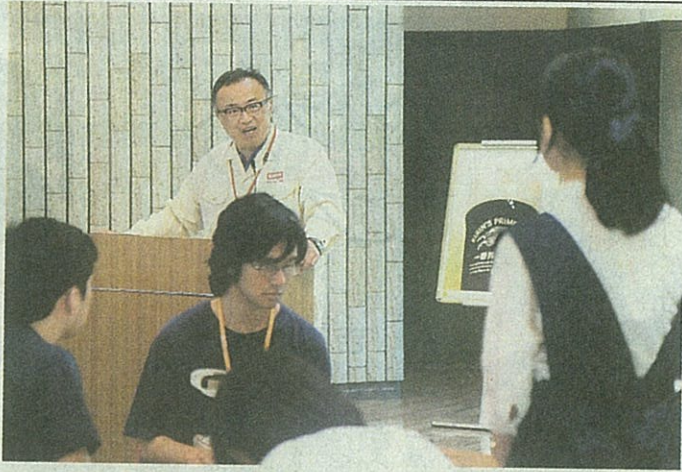
ビール会社の経営学ぶ

茨城大生 キリン 取手工場訪問

茨城大の人文社会科学部
の学生66人が2日、取手市
桑原のキリンビール取手工
場（九鬼理宏工場長）を訪
れ、同工場から経営に関す
る講義を受けた。経済学、
経営学を学ぶ2年生が参加
し、同工場の林義和総務広
報担当部長（53）から同社の

クラフトビール戦略に関す
る話を聞いた。

同講義は、同大の学生が
履修する基礎ゼミナールの
授業の一環。林担当部長は、
ビール市場が縮小していく
中、少量で特徴的な味付け
のクラフトビールを広める
戦略などについて講義。併



学生らの質問
に答えるキリ
ンビール取手
工場（九鬼理
宏）の林義和
総務広報担当
部長（写真奥）
取手市桑原

せて、地域の
役に立ちなが
ら、消費者へ
会社の経営方
針や活動を伝
える取り組み
などについて
も説明した。
学生からは

「設備投資などで気を付けていることは？」と質問が上がり、林担当部長は「安定的に利益を出すこと。客（消費者）と株主の信頼

を裏切らないこと」などと答えた。講義を聞いた同大の永見栞萌さん（20）は「時代の流れに合わせる取り組みがす

ごい。地域との信頼関係を大事にしながら、会社の利益を考えている点も印象に残った」と感想を話した。（高阿田総司）